



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



やまふじ ようこ
山藤 陽子
(公明会)

带状疱疹ワクチンの助成制度の取組について

問 年代別に带状疱疹に罹患している割合は。

部長 49歳までは全体の4.4%、50歳代は5.3%、60歳代は10.4%、70歳代は42.6%、80歳以上は37.3%となっており、50歳代から増え始め、70歳代でピークとなっている。この傾向は、国の調査と同じ傾向である。

問 静岡県内では、4市3町でワクチン助成が始まっているが、市で助成を行う予定はあるか。

部長 ワクチンの審議内容によると、新たな対象疾病に関する検討として带状疱疹ワクチンが挙げられている。期待される効果や導入年齢に関して検討を要するとされていることから、引き続き国の動向に注視していくとともに、原因となる過労、ストレスを解消するための周知啓発を行っていく。

HPV(子宮頸がん予防)のワクチンの接種の取組について

問 9価ワクチンとは。

部長 子宮頸がんを引き起こすと言われるヒトパピローマウイルス(HPV)には、150種類以上の型があり、9価ワクチン(シルガード9)とは、9種類の型のHPVの感染症を予防する効果がある。子宮頸がんを含むがんのリスクが高いHPV型の80%から90%をカバーできると言われ、さらに高い予防効果が期待できる。

問 男性のHPVワクチン接種助成制度を開始している地方公共団体が増えつつあるが、市として助成する予定はあるのか。

部長 市として、ワクチン接種の効果や安全面など、国における定期接種化に向けた考え方や具体的な動きを確認する必要があると考えている。今後、国や他自治体の情報収集に努めていく。



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)

新型コロナワクチンの後遺症と新型コロナウイルス感染症の後遺症から市民を救う

問 ワクチン接種をしても効果が低い人と有効な人の説明はどのようにしているか。

部長 接種券を郵送するときには説明書を添付し、ワクチンの接種会場で接種後の対応の周知文を配布している。今後は国の方針の下、効果や優先度についての新しい情報の周知と、ワクチン接種の問い合わせに対し、丁寧に対応していく。

問 体の免疫が少ないと分かる方法はあるか。

病院長 非常に難しい質問だが、不眠や過労などをした時はたとえ健康な人でも、免疫機能が衰えることは分かっている。

熱中症対策と市民生活を考える

問 各自治会が管理している公会堂、区民館及び集会所にはエアコンが完備されていない建

物もある。熱中症対策として市での設置や、できなければ補助金の新設は考えられないか。

部長 市としても設置費の相談も寄せられており、自治会活動を安全で快適に行うための活動拠点の整備は重要と考えていることから、区民館等のエアコン設置について、関係課とともに対応方法を検討していく。

市長 市営住宅の集会所や区民館など、エアコンのない場所については、自治会活動にも差し支えがあり高齢者や体の不調の人もいることから、個別調査して大至急設置できるようにする。

富士根北部の交通対策について

問 交通指導員が危険だと思う案件の対応は。

部長 声掛けや警笛を鳴らし注意しているが、ひどい場合には警察や学校に相談している。

問 外国人の自転車マナーについて。

部長 外国語版のパンフレットなどを活用しながら、外国人が多い会社等に周知していくことを検討していく。

要望 朝の交通安全の啓発を考えてほしい。